



今  
は  
遠  
く  
真  
夏の  
夢  
嘘

DOJIN  
R18  
成人向け

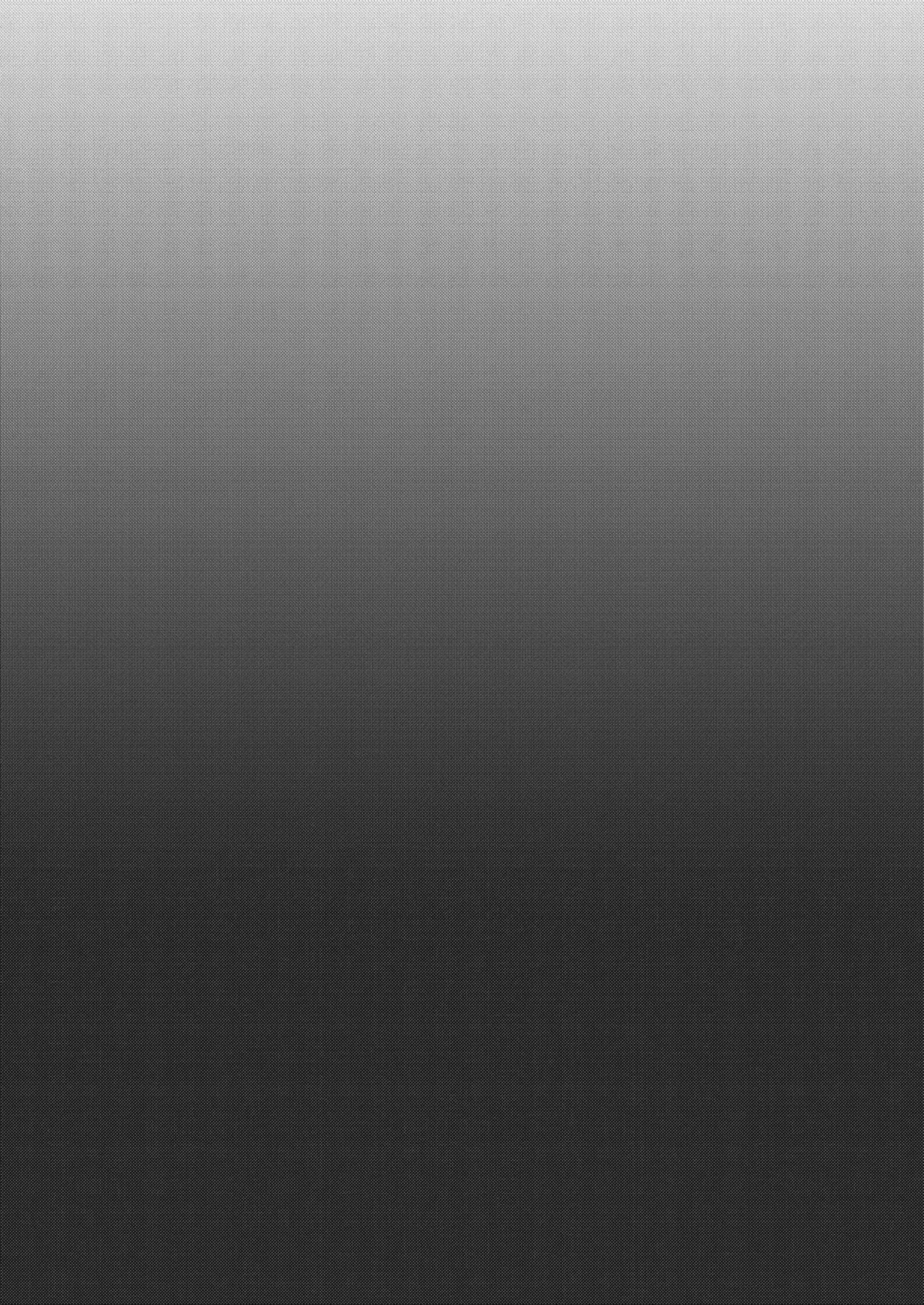




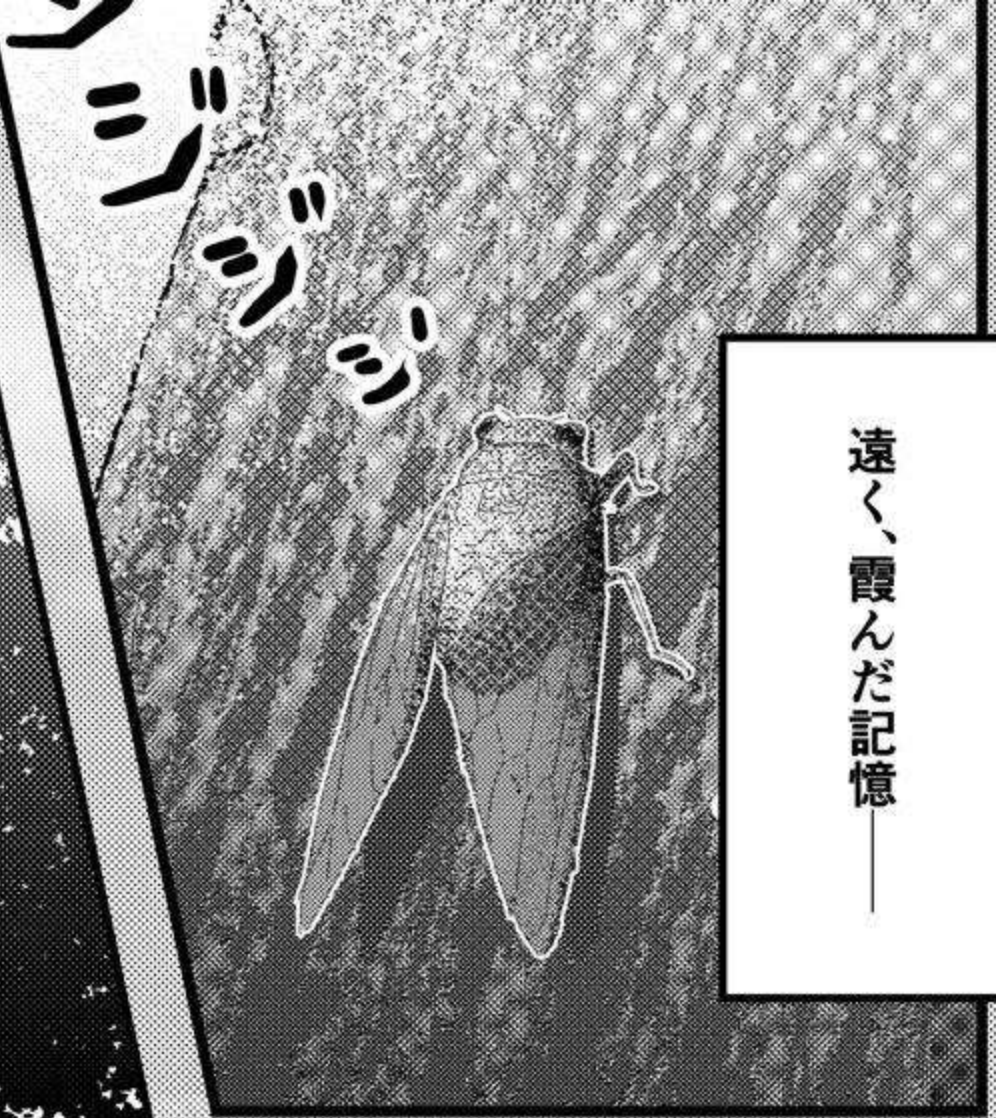
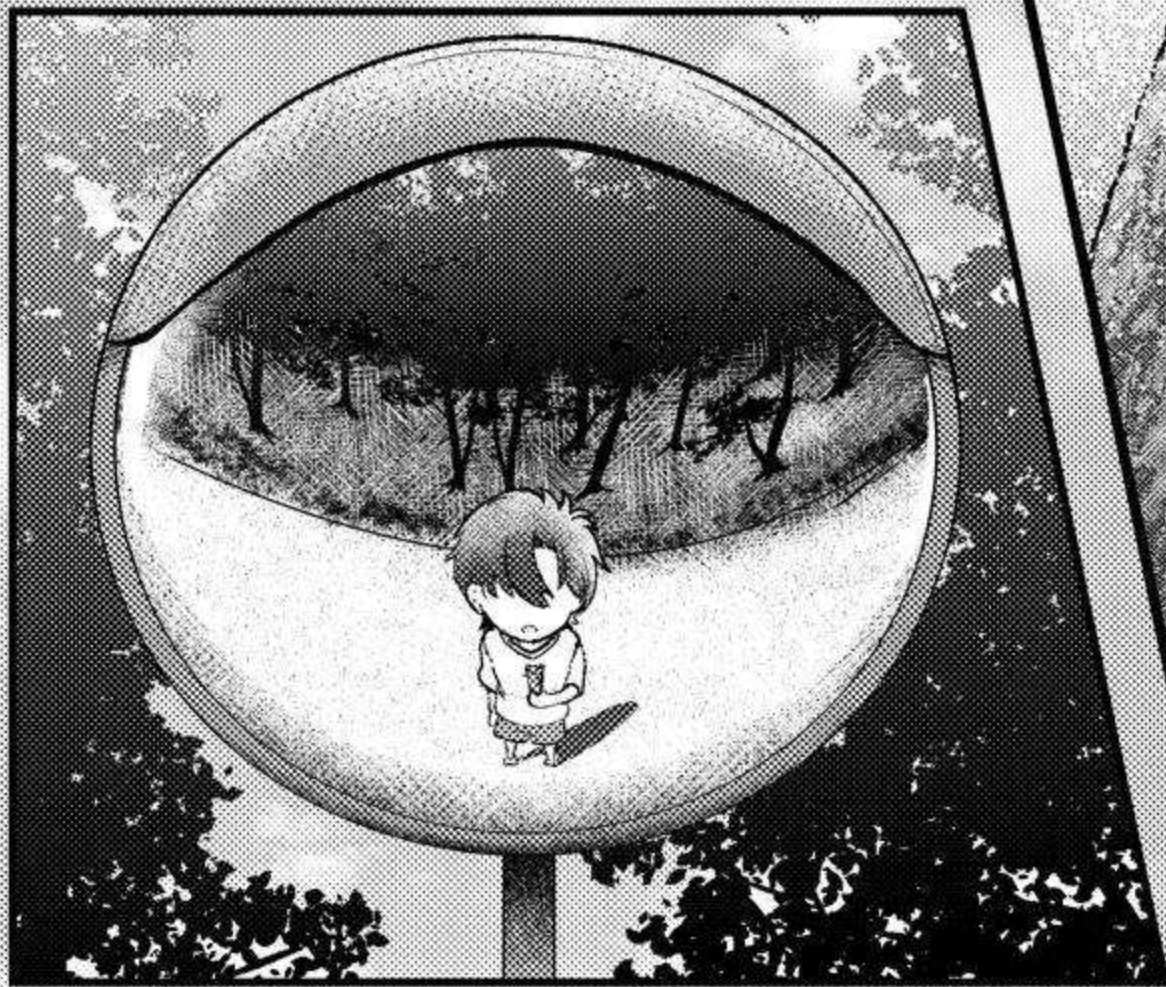
今  
は  
遠  
く  
真  
実  
な  
夢  
（嘘）

※本誌は成人向けの作品です。  
18歳未満の所持、購入の一切を禁じます。







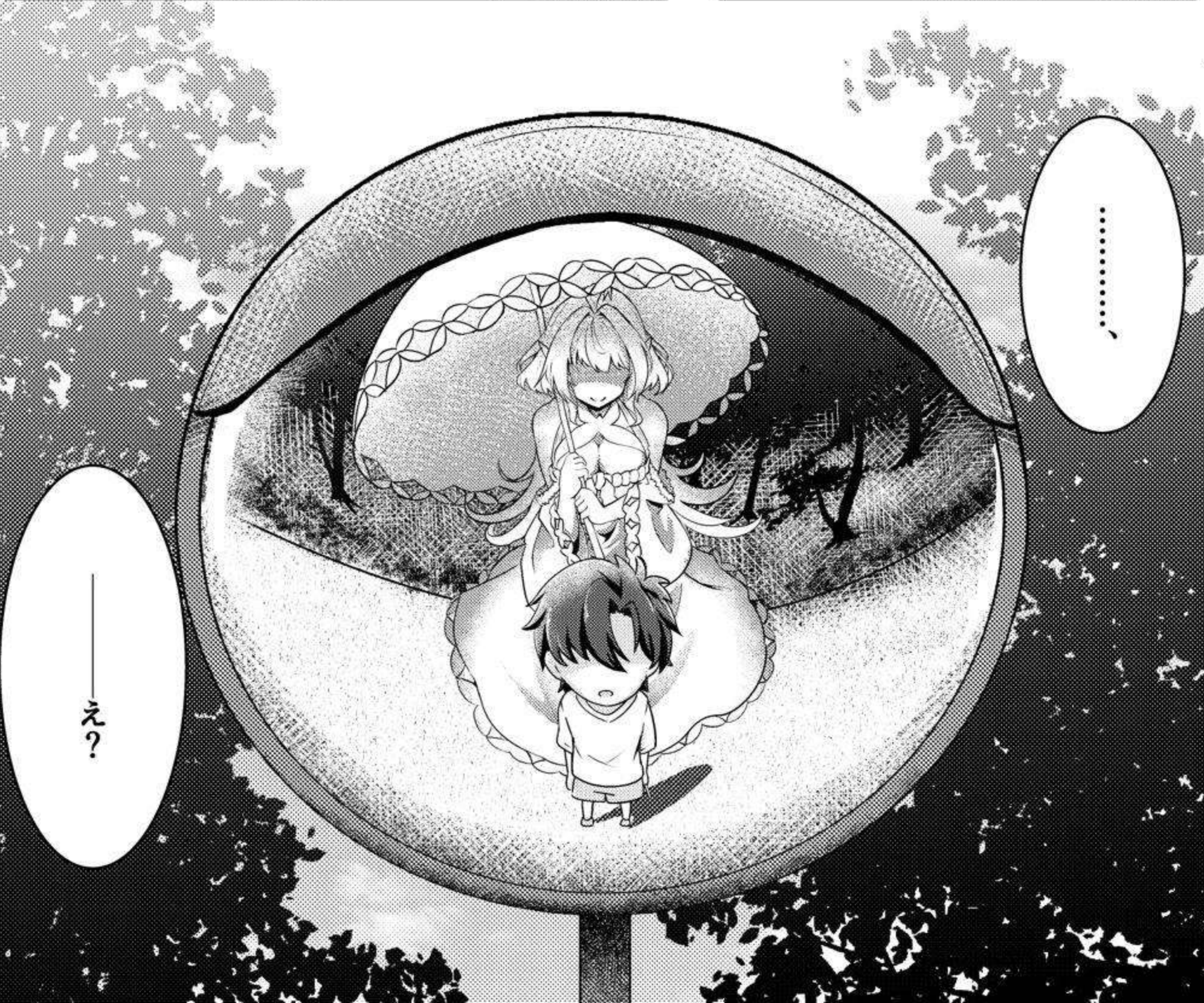


遠く、霞んだ記憶――

曖昧で、朧げで、不確かな  
真夏の日の出来事――















な、何!?

うわああっ!?



やあ

こんにちは☆



——ふふっ、  
驚かせてすまないね

少し、可愛らしい男の子が  
いたものだから、つい。

見ているだけで、  
何か変な気分……

どうだい？  
日差しも強い事だし——

知らない。誰だろう。  
すごく綺麗な人だ——



—あそこで、お話でも  
していいかないかい？

.....

ち.....  
近い.....!!

えっと.....、それで、  
俺になにか

?

!?

キッ

か、顔が.....!!









わっ、わわ—!?



あ、ああ—っ、



あ、あのっ—俺、  
帰らなきゃ—っ!!



あ、あのっ—



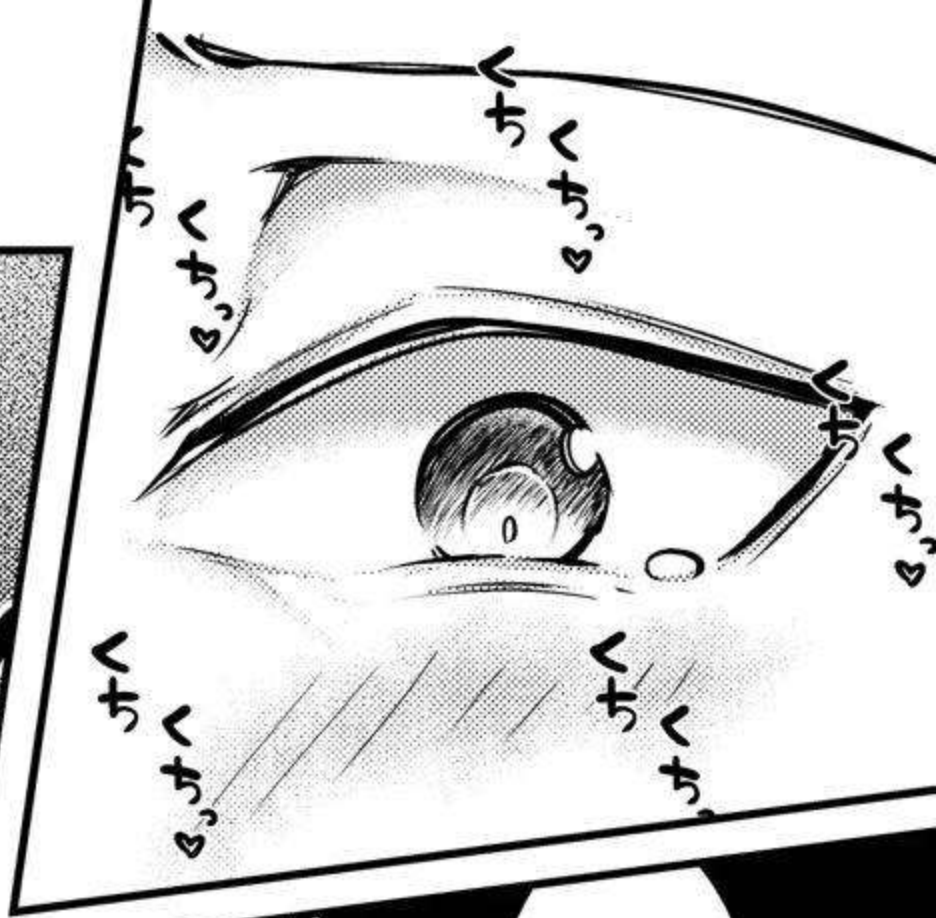
……まったく、  
仕方がないなあ――

――  
キミは♡

ん  
ん♡  
ん







こんなに大きくして、

あーっ  
あーっ  
あーっ



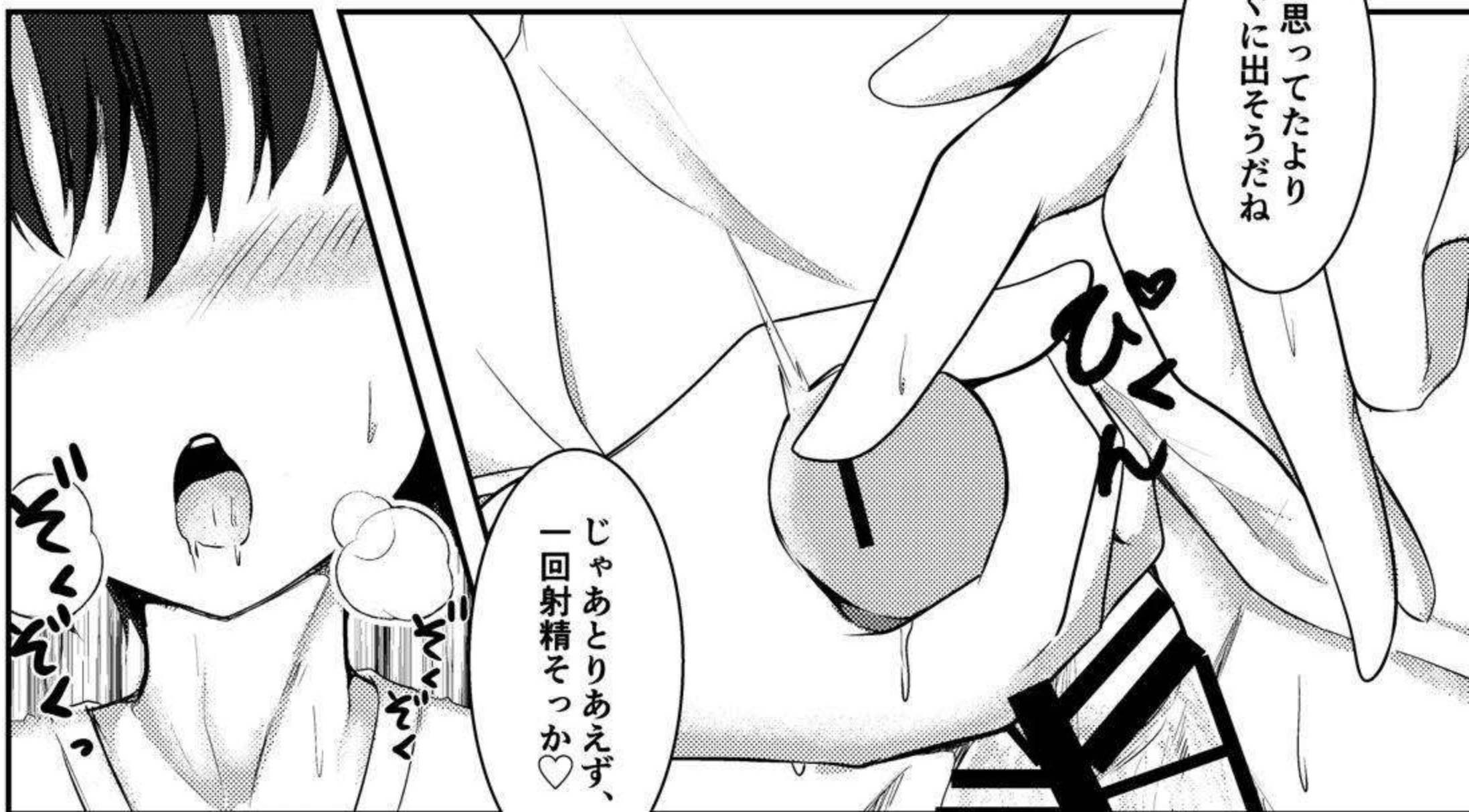
会ったばかりのお姉さんを見て何を考えていたのかなー？



おっぱいが背中にー！

あーっ  
あーっ  
あーっ

ん、思ったたよりすぐに出そうだね



じゃあとりあえず、一回射精そっか♡

ひん  
ひん  
ひん

ぎん  
ぎん  
ぎん





何が起こったのか、  
その時はふわふわして  
わからなかった——

はあ…

はあ…

はあ…

はあ…

はあ…

はあ…

あーっ

けど——



ふふっ 次はもっと、  
妻いこと、シよっか

あのー、  
お姉さんの不敵な笑みだけは

深く脳裏に  
焼き付いていたー



今の……、  
夢、かー











やってしまった...



変な夢を見た  
せいなのだろうか...



誰だったのだろうか？  
誰かに似ているような.....



子供の頃、そんなことがあったかどうか  
聞かれても、非現実的すぎて無いと  
言い切りたいところだが

何故か懐かしさを感じる...  
それどころか





大丈夫でしょうか、  
お顔がすぐれないようですが…

センプアイム

どろろ  
びりっ



いや。大丈夫だよ、  
少し考え事をしてた  
だけだから……

でも、ごめんマッシュ、  
折角だけど、もう少し、  
休ませてもらうよ

ぐわ  
びりっ



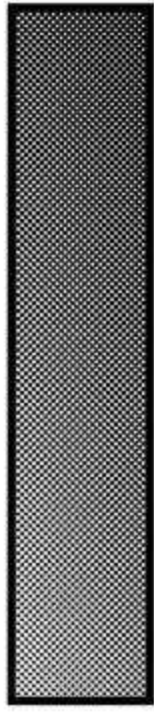
そうですか、  
あまり無理なさらず、  
今日は休んでください、

それでは、  
失礼しますね





んっ、しょう、



どうだい？

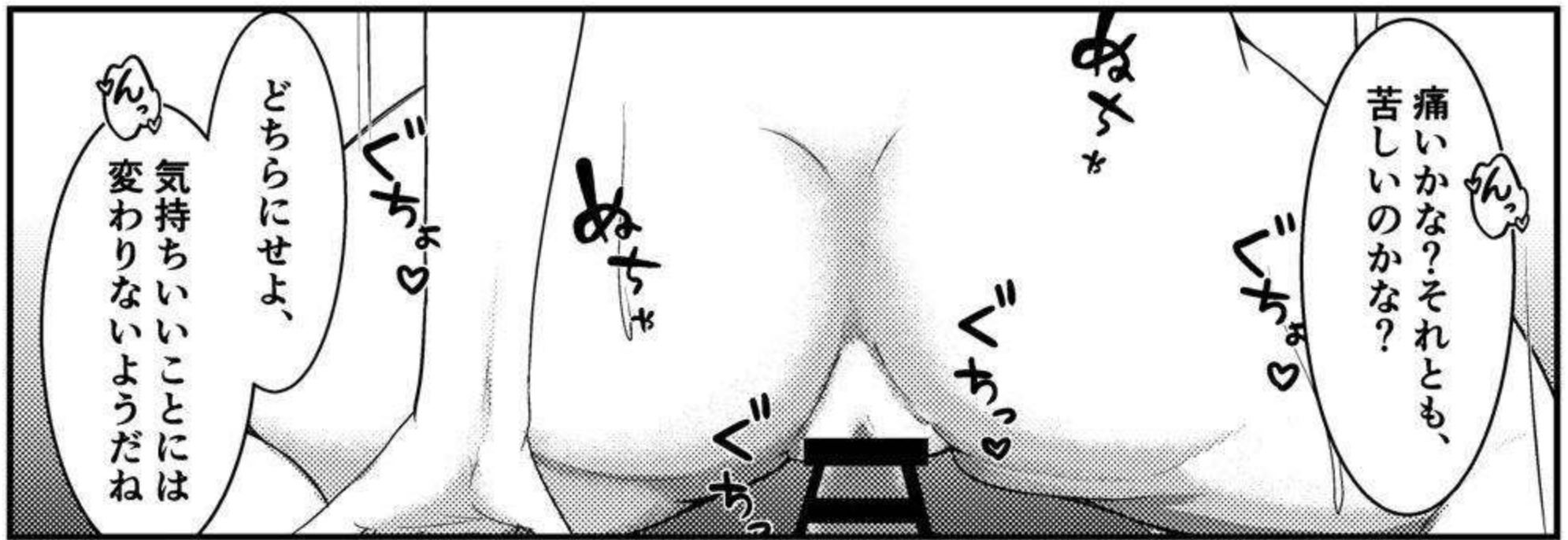
んっ、初めて、女の子と、繋がって見た感想は

んっ

んっ

んっ





んっ  
痛いかな？それとも、  
苦しいのかな？

んっ  
どちらにせよ、  
気持ちいいことには  
変わらないようだね



だってー

あはっ、  
凄い顔してるよキシ、



んっ  
ほんのイタズラのつもりだったけど、  
そんな顔されたら、んっ♡

んっ  
ボクも、  
とことんまで、  
楽しんでみたくなって  
きちゃったじゃないか♡

はー、

はー、

はー、

はー、

はー、





キミも喜んでるようだし、  
もう、——いいよね♡

はー

はー

はー

また、イキそうかい？

はー

あ



いいとも、思う存分、好きだから  
臍内につ、射精してくれたまえ♡

あ

はー

あ

はー

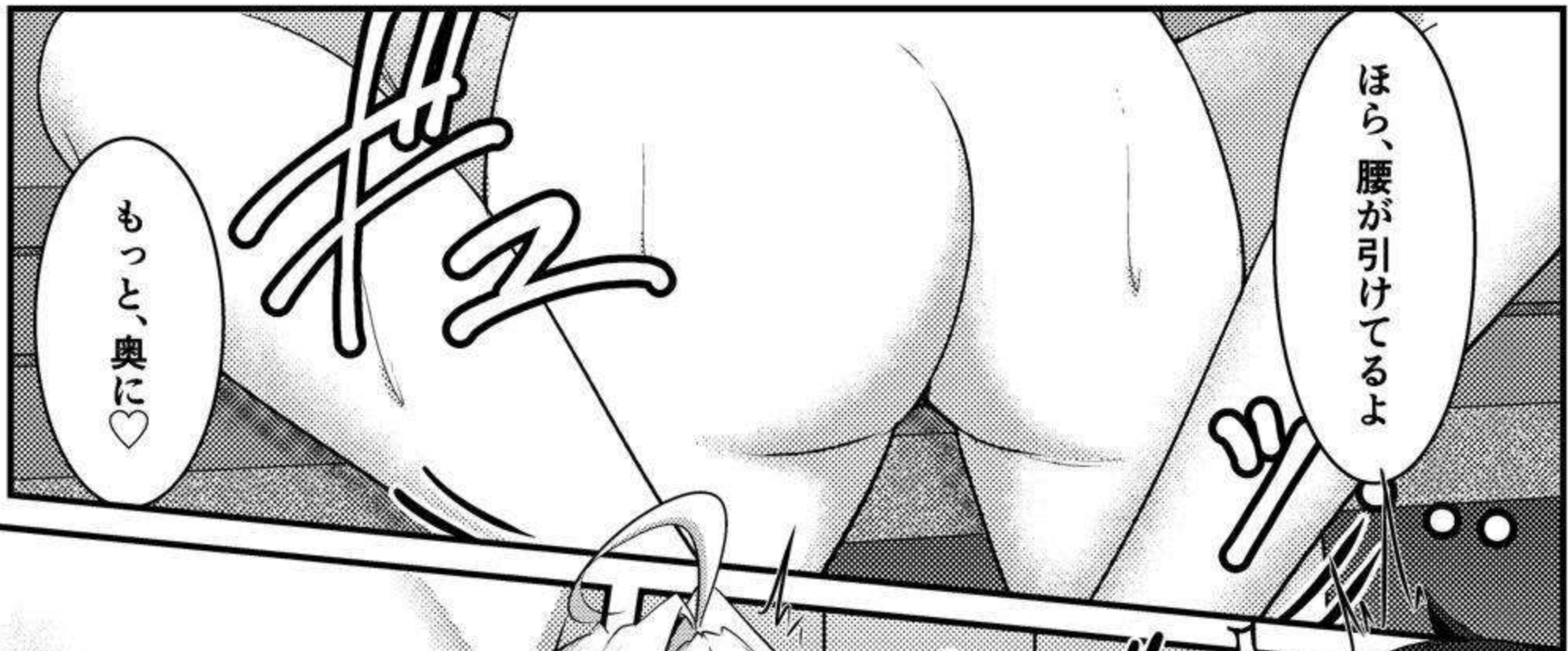














そう、ゆっりと引いて

ズミ

そのまま押し込んで

アッ

アッ

あー

あー

ん

あー

ん

ん

ん

ん

ん

そうそうっ、その調子

ん

ん







触りたいかい?

ほら



好きだけで、  
いいよ♡

はい

はーい

ぽっ♡

ん♡

ぽっ♡

ん♡

はーい

ぽっ♡

ん♡





気に入ってもらえて  
何よりだよ♡

はーい  
あっ、んくっ♡  
そんなにがっついて



んふう、奥の方、射<sup>だ</sup>精したくて  
こっこつ当たってるの、わかるよ

そろそろ、だね……



こっこつ♡  
ん♡

じゃあ、しよっか♡



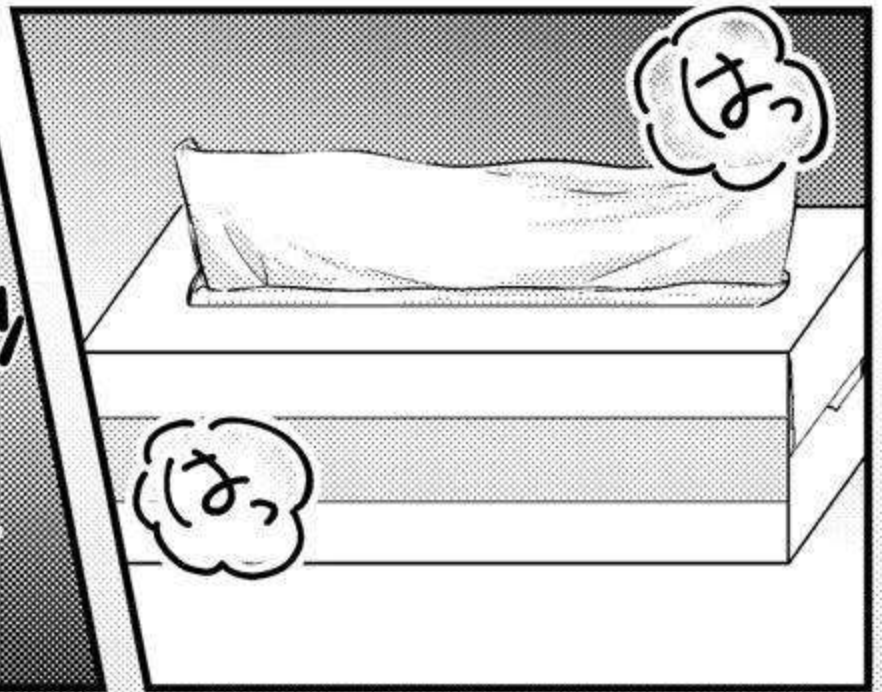
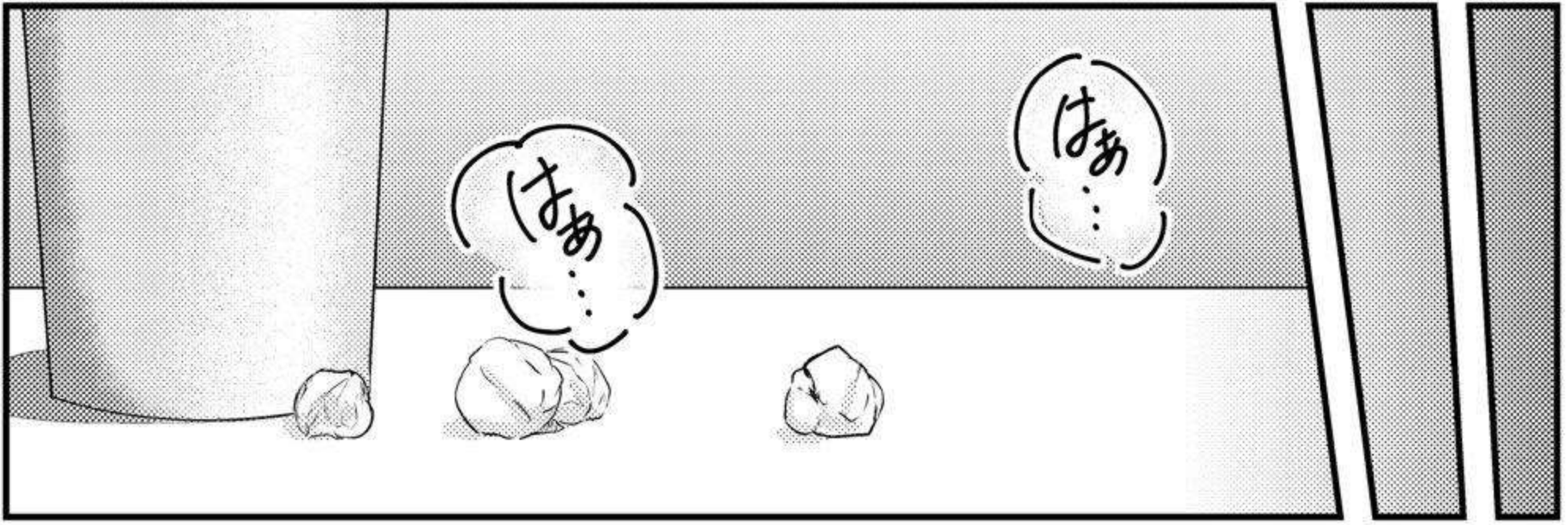
なにかだ射精♡

ん♡  
ん♡  
ん♡

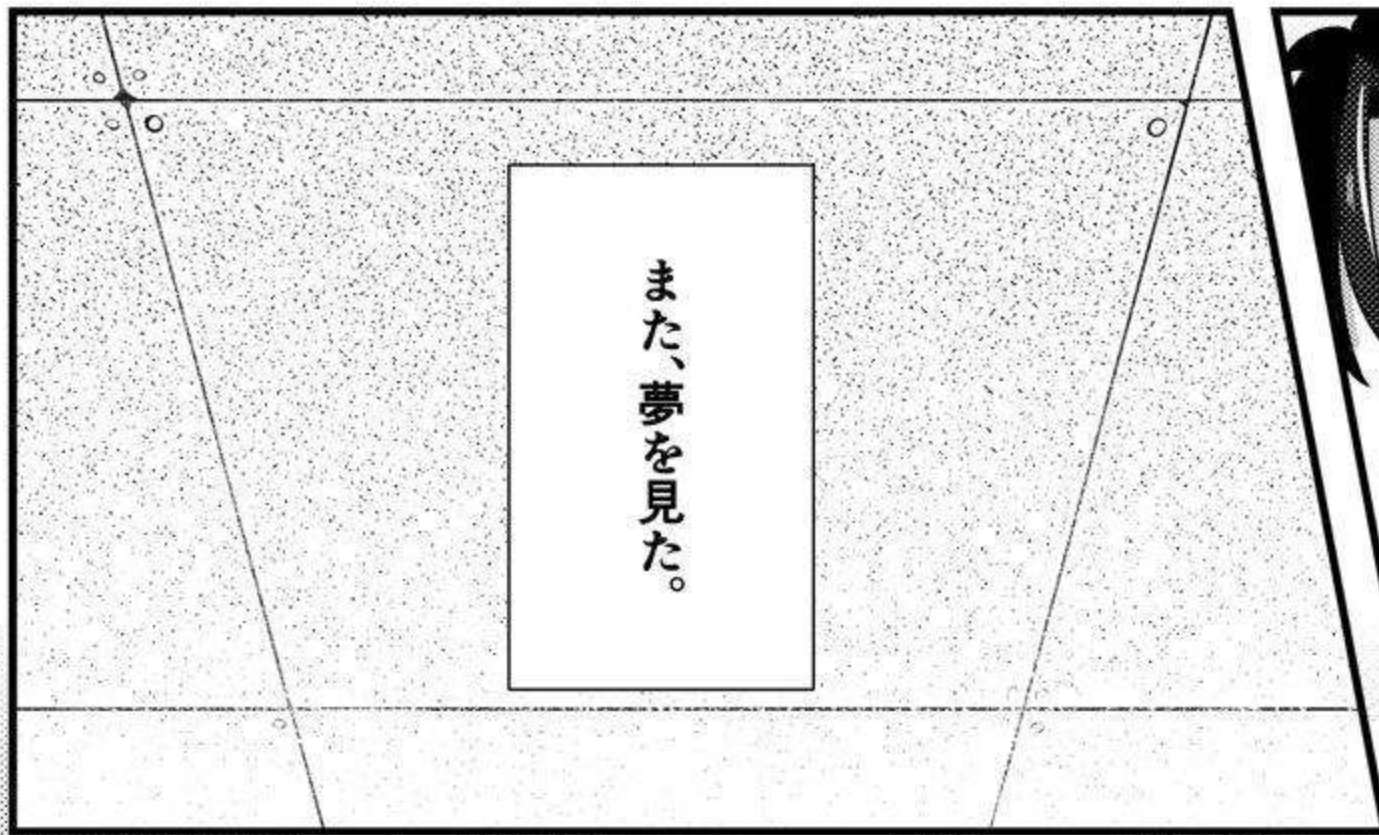












また、夢を見た。



あー……。



小さい頃の記憶——  
文字通り夢のような、  
不思議な真夏の体験。

自分でもわからないが、  
あの夏の日の出来事は何故か、  
本当にあったとそう感じる



また——一緒に、

遊ぼうね♡

……ッ

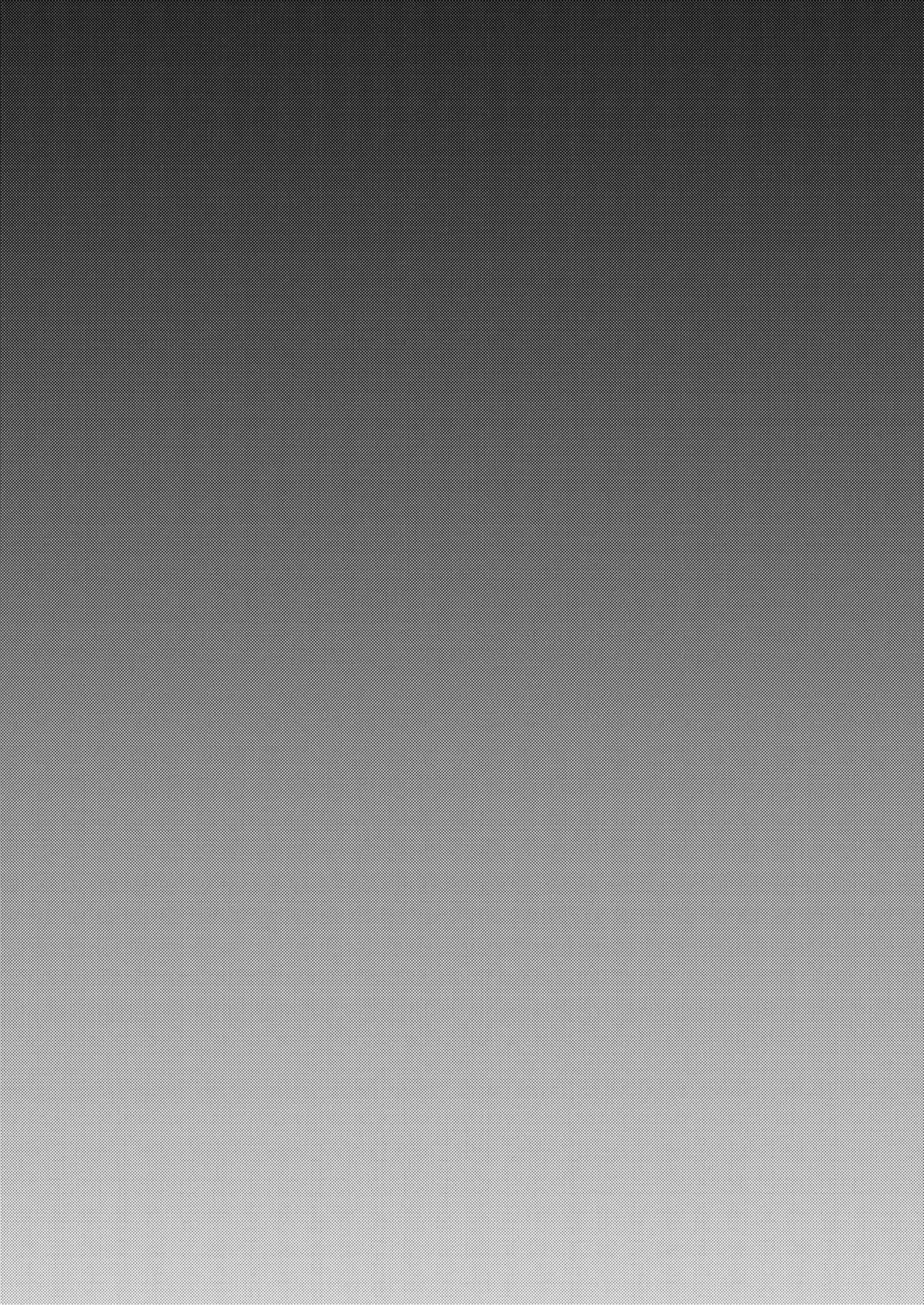
ひんひん

とりあえず、  
今はまだ——

ひんひん

そういうことだ、  
しておこう——。







# あとがき。

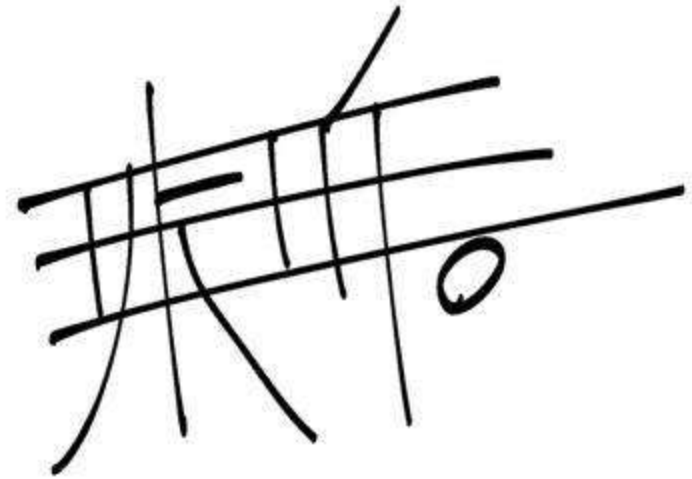
おねショタはイイぞ。  
純粹無垢な少年の性癖が壊れ、恋愛観念が崩れ去る音……いやあ、たまんねえなあ！  
あっ、どうもこんにちは、サークルTreeDrop代表、葉月琥珀です。  
今回はレディ・アヴァロンの本になります。

実装された一年前からずっと描きたくて、ある程度構想があり、  
「やるかやらないかで言えばギリやるよね」っていうラインのシナリオにしました。

ちなみになんすけど、今FGOフェスに並びながらこのあとがき書いてんすよ。  
スゲー暑いしなんか幻覚見える気がするし軽く吐き気までしてます。熱中症だね！！

え、で。なんの話でしたっけ？おねショタ？

**おねショタはイイぞ！！**



## 奥付

日付 2023/8/12  
サークル TreeDrop  
e-meal kohaku.hazuki.0416@gmail.com  
twitter @kohaku\_hazuki  
Pixiv <https://www.pixiv.net/users/31194902>  
印刷 大陽出版様

本書の無断転載・無断転用を一切禁止します。



